

災害から子どもたちの生命を守る

この夏、地球規模の異常気象は各地に思わぬ災害をもたららし、私たちの生活を脅かしています。

今日は「防災の日」。過去の悲惨な災害を教訓に全国で防災訓練が行われます。

私が小学校へ入る前の年の夏、台風のために堤防が破壊され、田んぼが海のようになり、叔母の家と家族が川に流されたことは今でもまぶたに残っています。中学校三年生のときは、伊勢湾台風のために修学旅行が一ヶ月延期されましたが、その爪あとは悲惨なもので、バスの走る道路の両側に花束が数知れなく並んでいました。私の家の農作業小屋が一

夜にして崩壊したこともありましたが、ケガはしなかったものの、自然の予期せぬ猛威には、想像を絶するものがあります。

私たちは、乳幼児の保育所という場にあつて、大切なお子さんの保育に当たっていますが、いつも生命と背中合わせであることを忘れたことはありません。今後も、子どもたちの生命を守るために万全を期して保育に当たる所存です。保護者の皆さんの変わらぬご協力をよろしくお願ひいたします。



あいあい畑に咲いた
はるかさんのひまわり